

28 スイカ

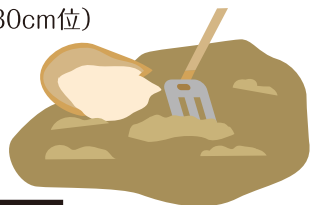
【土作り】良菜健穂／大地／コフナ 【元肥】有機盛々
【追肥】千代田 550



1 畑の準備

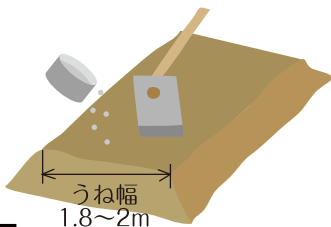
土作り

植え付けの14日前までに「良菜健穂」、「大地」、「コフナ」をまいて深く耕し土作りを行う。(30cm位)



元肥・うね立て

植え付けの1週間前までに元肥の「有機盛々」をまいて、うね立てをします。元肥を入れすぎると着果が悪くなるので、量は控えめにします。



土作り
良菜健穂:10坪当たり 2kg
大地:10坪当たり 3~5kg
コフナ:10坪あたり 3~5kg

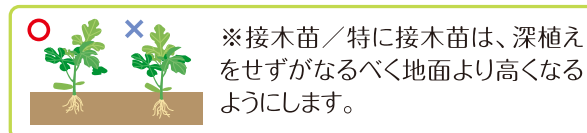
元肥
うね幅 1.8~2m
有機盛々:10坪当たり2~3kg

2 畑の準備・植え付け

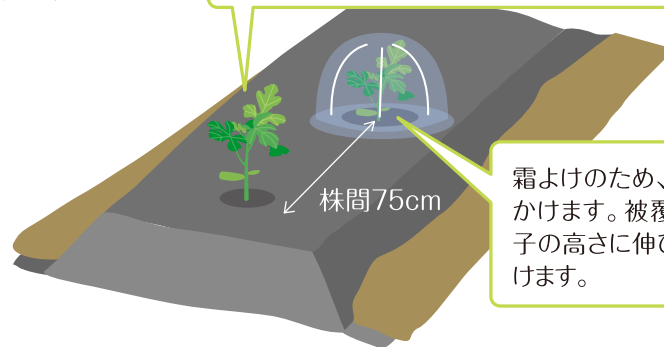
スイカは連作を嫌うので、連作を避けるか、接木苗を利用してください。

植え付け

温暖な日を選んで、畑に植えます。



※接木苗／特に接木苗は、深植えをせずなるべく地面より高くなるようにします。

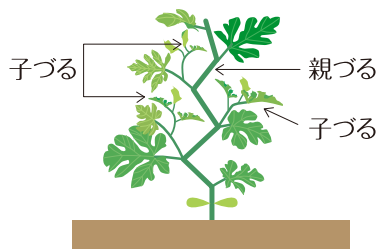


霜よけのため、苗帽子をかけます。被覆は、苗帽子の高さに伸びるまでかけます。

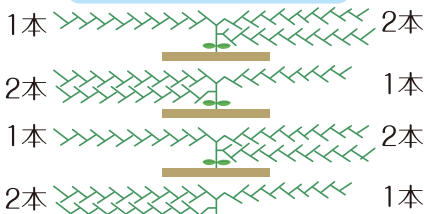
3 整枝(芽止め)・敷わら

整枝

親づるは、本葉5~6枚で摘心し、勢いのよい子づるを3本伸ばします。着果は子づるに行うようにします。



子づるの配置の仕方



子づるを左右交互に分かれるよう配置すると、混み合いがすくないです。

敷わら

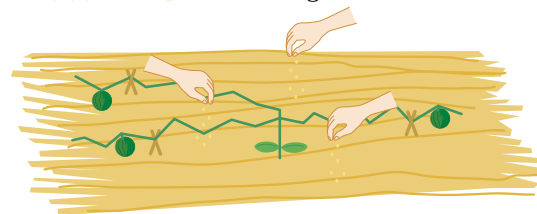
子づるが伸び始めたら、乾燥や泥はねを防ぐため、敷わらを行います。



つるは風で動かないよう、竹や木の枝で留める。

5 追肥

果実がこぶし大になった頃、所々にひと握りの「千代田550」(約40~50g)を追肥します。



追肥の判断

つるの先端が首をもち上げる状態は、つるぼけ。

→ 追肥延期

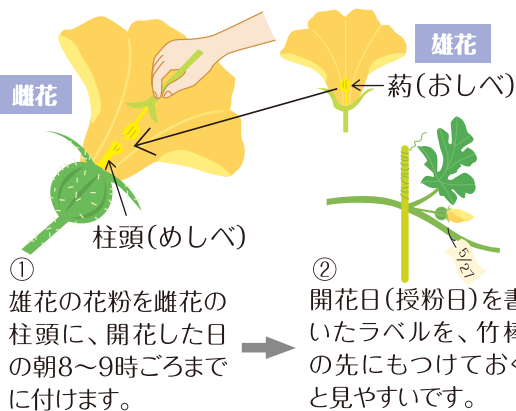


うぶ毛は白くはつきり見える。早朝の畑を見て、畑全体が白っぽく見える。

→ 追肥延期

6 人工授粉

子づる20節前後に開花した雌花に、人工交配を行い確実に着果させます。雌花の開花日(授粉日)には、日付を付けておきます。

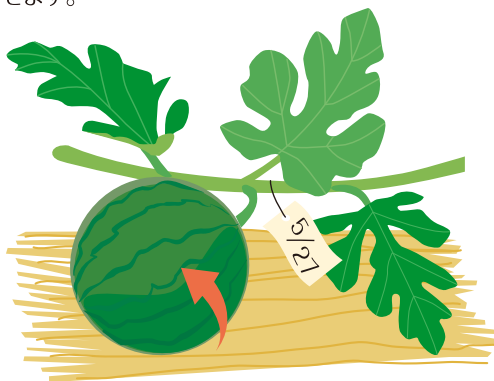


① 雄花の花粉を雌花の柱頭に、開花した日の朝8~9時ごろまでに付けます。

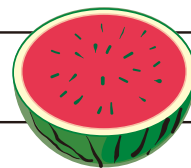
② 開花日(授粉日)を書いたラベルを、竹棒の先にもつけておくと見やすいです。

7 玉直し

果実は1株に3~6個(つる1本当り1~2玉)つけるようにします。果実が肥大しきった頃に、底部分を裏返すように果実を置きかえ、ムラなく着色させます。



8 収穫

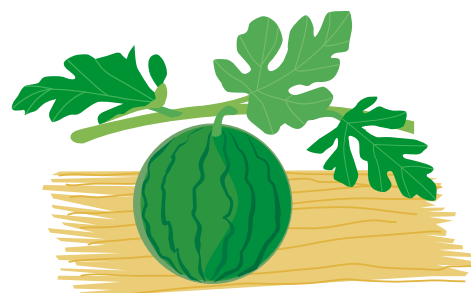


開花後

大玉種40~50日位／小玉種30~40日位で収穫できます。

◆収穫の見分けポイント◆

① 巻きひげが枯れる。② 縞がはっきりしてくる。



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中間地					🌱	🌱	🌱	🍈				
暖地				🌱	🌱	🌱	🌱	🍈				
寒冷地					🌱	🌱	🌱	🍈				

🌱 種まき期
🌱 植えつけ期
🍈 収穫期

土いじり応援プロジェクト



無断転載禁止